

基金を活用して実施した助成事業の紹介

■協働助成事業(テーマ希望型)

株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター様からの寄付による

〔“3Rの一步先へ”若者の力で
被災地に夢と希望を届ける震災復興支援事業〕

点字学習支援装置による、被災地の視覚障がい者が自立し社会参加を促す支援活動

事業実施団体 山形県立米沢工業高等学校定時制生徒会(米沢市)

事業内容

「人に役立つものづくりがしたい」という生徒の言葉がきっかけとなり、平成24年度に弱視者や視覚障がい者が点字を自主練習するときの補助教材(打った文字が音声化され、入力した文字を耳で確認しながら学習することができる装置)を製作し、県立山形盲学校に寄贈しました。今年度は、よりコンパクトで軽量、打った文字を記憶し再生できる機能を付け加えた点字学習支援装置を製作し、福島県立盲学校に寄贈しました。



山形県民共済生活協同組合様からの寄付による

〔県民共済「共に豊かな生活を」
婚活と子育て応援事業〕

スポーツ学童「S-Landジュニア」

事業実施団体 (特活)尾花沢総合スポーツクラブ(尾花沢市)

事業内容

核家族化の進行や共働き世帯の増加などにより、子育てを取り巻く環境が変化しています。このため、子育てに困っている保護者を対象に、当クラブが管理している施設の空きスペース等を活用して、子どもたちが安全で安心して過ごすことができる場を提供しました。子どもたちには、身体を動かして遊ぶ楽しさを味わってもらうことができました。

子どもたちの笑顔と体力向上、保護者の皆さんの満足度アップにつながりました。



日産プリンス山形販売株式会社様からの寄付による

〔日産プリンス山形販売 子どもから大人まで
環境にやさしい社会づくり支援事業〕

小学校などでの環境学習とプール清掃・地域での環境講習会

事業実施団体 (特活)環境U-ネットやまがた(南陽市)

事業内容

これまで合成洗剤を使用して行ってきたプール清掃作業を環境にやさしい善玉菌微生物の力を借りて実施しました。EM(有用性微生物群)を培養する過程で、発酵したEMの臭いや感触等を五感で受け止めた子供たちは歓声を上げていました。EMを1ヶ月間熟成した後、プールに投入することにより清掃がとて楽になるなど、実践を通じた環境学習ができました。4月～10月まで、米沢市愛宕小など県内8校で実施しました。



イオンリテール株式会社様からの寄付による

〔イオン・さくらんぼWAON
子どもの健全育成支援事業〕

プロジェクトK・K
—体感的食農教育で子どもたちに生きる力をつける—

事業実施団体 山形県新規就農者ネットワーク(河北町)

事業内容

農業者の高齢化などの理由から採られずにいる柿や栗を、子どもやその保護者が収穫・加工することにより、伝統文化の継承と協力・連携の大切さを体感的に学ぶ機会を提供しました。田植えや稲刈り体験のほか、栗拾いや渋柿の収穫、干し柿づくり体験を実施し、地域に親しんでもらいました。

栗拾いでは蛇が出てきてびっくり。柿の収穫ではあいにく雨が降るなどのハプニングもありましたが、12月には収穫祭を行い、自分たちが作った干し柿を食べました。小さい子どもは初めての味に「!?!」。保護者の皆さんは「懐かしい味がする」と喜んでいました。



■協働助成事業(テーマ希望型)

アサヒビール株式会社山形支社様からの寄付による

〔うまい!を明日へ!郷土が誇る最上川と伝統文化保護・保全事業〕

1 最上川舟運で栄えた河北町の豪農、
安部権内家の保存・修理事業

事業実施団体 安部権内家を保存する会(河北町)

事業内容

旧安部家は、江戸時代末期に建てられた母家や蔵座敷が建築当時の状態をそのまま保ち、また、生活道具や江戸時代からの文書など当時の生活を知ることのできる貴重な史料も残されており、小学校の社会の授業でも利用されています。

今回、蔵座敷の床を補修し12月に一般公開を行ったところ、2日間で延べ600人を超える方々から見学いただきました。

また、平成25年11月に登録文化財に答申され、地域内外の関心が高いことから、今後は、紅花資料館と連携し「歴史と文化の町」河北町のPRを図っていきたいと考えています。



株式会社荘内銀行様からの寄付による

〔荘内銀行 次代に繋ぐ山形の豊かな自然
～森・川・海と繋がる環境保全、地域資源の利活用支援事業～〕

全国育樹祭プレ活動「金山みどりいっぱい緑化事業」

事業実施団体 金山町区長・公民館長連絡協議会(金山町)

事業内容

山が森林を育て、森林が水を育み、川となり大地を流れ、海にたどり着きます。大地の栄養をたくさん得た水は貴重な水産資源を育みます。

このように、山、森林、川、海のつながりは昔から脈々と引き継がれてきたものであり、我々人類を含めた生物の宝です。

平成26年10月12日に金山町で開催される「第38回全国育樹祭」を盛り上げ、また、県内外から参加される方々に森、川、海に恵まれた自然豊かな本県をPRするため、町内に約60本の植林活動を行いました。

今後は森、川、海がつながるように、自然保護・緑化の活動が広がるよう、環境美化活動に引き続き取り組んでいきます。



2 「青苧」復活で、伝統文化を蘇らせる活動

事業実施団体 青苧復活夢見隊(大江町)

事業内容

青苧は、江戸時代松山藩左沢領の第一の産物として保護、育成され、重要な財源となった歴史があり、大江町を語るものの一つです。

青苧の栽培方法や繊維を取り出す技術、機織り技術などの伝統技術を継承していくため、小中学生や一般向けに各種体験学習を実施しました。また、青苧入り和紙漉き体験を通して作った「卒業証書」を町内の小中学校に贈呈し、人生節目の記念として卒業生に渡しました。

今後も歴史的背景にもとづいた青苧文化を次世代につないでいくことにより、町おこしと地域活性化につながる活動を目指していきます。



施設紹介

〔人を活かす交流まちづくり施設整備支援事業〕
地域のお茶の間～古民家「山田屋」の再生～

事業実施団体 羽州街道「榎下宿」研究会(上市市)

街道沿いに残る古民家内を板張りにリニューアルし、囲炉裏のある往時の空間が蘇ったほか、トイレの新設や台所の改修等により古民家の利便性が高まりました。住民がいつでも気軽に集える憩いの場、来訪者と地域がふれあう交流の場として大きな期待がかかります。

温泉情緒あふれるおもてなし

事業実施団体 小野川温泉観光協議会(米沢市)

温泉情緒を醸し出すため、温泉入口に湯の神様「薬師堂」を模した木製案内塔を建設しました。

長年の悲願が実現しただけでなく、温泉情緒を高め、小野川温泉のシンボルになりました。

